

市民アンケートの実施について

(1) 調査の目的

公共施設再編計画の策定にあたり、施設ごとに考えられる具体的なコスト削減方策や、今後の施設のあり方について、広く市民からの意見を伺い、再編計画策定の参考にするため実施した。

(2) 調査方法

公共施設の実態のデータを示しながら設問をするため、紙面では分量が多くなり、回答が得られない可能性があることから、WEBアンケート形式とした。

① 調査対象

WEBリサーチ会社の登録者 2,243人（鎌倉市在住の18歳以上の方）

登録者数の内訳：18～20歳代 462名、30歳代 593名、40歳代 617名、50歳代 313名、60歳代 174名、70歳以上

② 調査実施期間

平成26年3月14日（金）から平成26年3月23日（日）まで（10日間）

(3) 調査内容

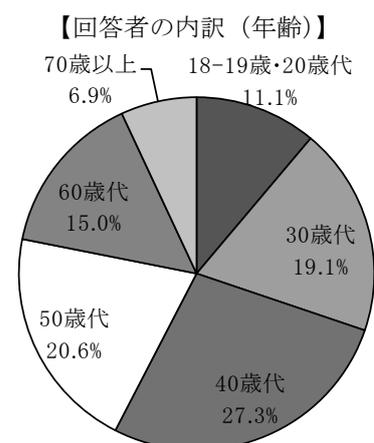
鎌倉市公共施設再編計画基本方針の概要を提示した上で、今回は不特定多数の市民が利用する施設を中心に、施設の配置や複合化が期待されるサービス等に関する設問を行った。

アンケートの設問内容を次ページ以降に示す（実際のWEB上の画面とは異なる）。

(4) アンケートの回収状況

回答数 622人（回答率27.7%）平成26年3月24日時点

	回答数 A	割合	モニター 登録者B	回答率 A/B
18-19歳・20歳代	69	11.1 %	462	14.9 %
30歳代	119	19.1 %	593	20.1 %
40歳代	170	27.3 %	617	27.6 %
50歳代	128	20.6 %	313	40.9 %
60歳代	93	15.0 %	174	53.4 %
70歳以上	43	6.9 %	84	51.2 %
全体	622	100.0 %	2,243	27.7 %



【アンケートの設問内容】

アンケート調査へのご協力をお願い

鎌倉市では、長期的に財政状況が厳しくなると予測される中、今後の公共施設（建築物）の管理・運営の一層の効率化と施設利用の利便性の向上を図るため、公共施設の再編に取り組んでいるところです。

そこで、公共施設の再編計画策定にあたり、広く市民の皆様から、今後の公共施設のあり方についてご意見を伺い、再編計画策定の参考にさせていただきたいと考え、「鎌倉市公共施設再編計画策定に向けたWEBアンケート調査」を実施させていただくものです。

■公共施設再編計画基本方針のポイント

はじめにお読みください！

鎌倉市では、公共施設の**66%が築30年以上**となっており、その全てを維持し続けるために大きな修理をしたり建て替えたりする費用（＝更新コスト）を試算すると、1年間に必要な**費用が現在の2.8倍**になります。

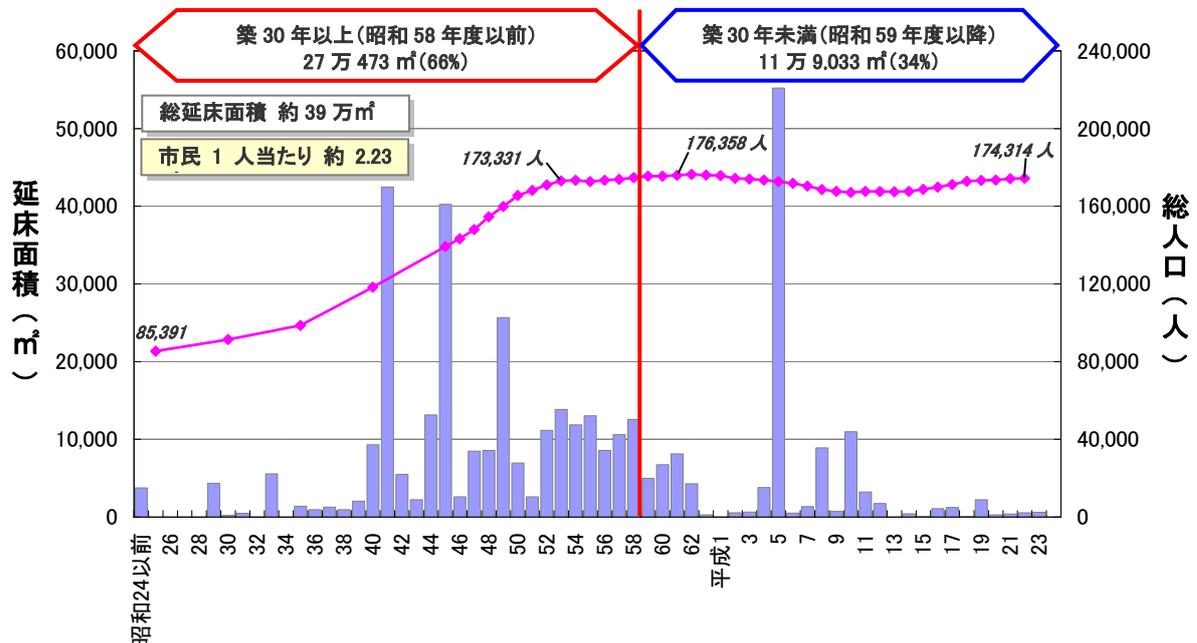
このため鎌倉市では、建築費や維持管理費、サービス提供に係る人件費などの工夫により、試算された**更新コストの50%を削減**できるよう検討を進めています。

鎌倉市では、築30年以上の公共施設が全体の66%を占めています。

本市が保有する公共施設の延床面積は、約39万㎡です（市民1人当たり約2.23㎡）。

昭和40年代から昭和50年代にかけて建てられたものが多く、築30年以上の施設が全体の約66%を占め、老朽化が進行した施設が多くなっています。

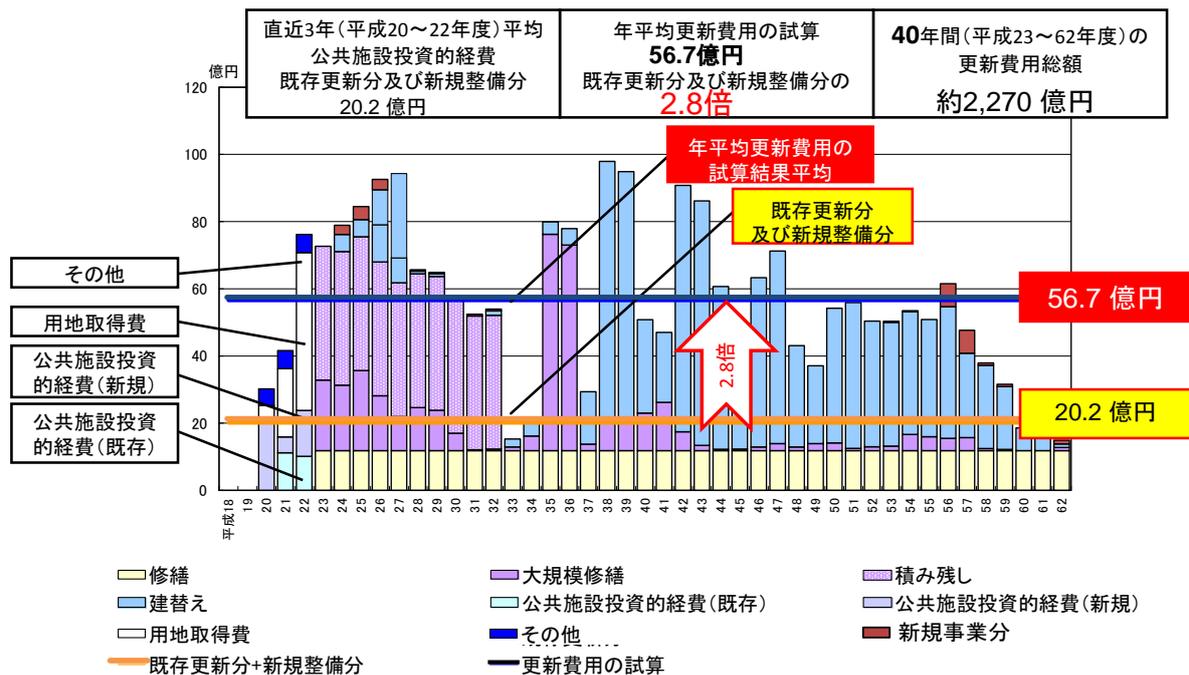
[公共施設の築年別整備状況のグラフ（画像をクリックすると別画面で拡大表示されます。）](#)



公共施設の建替え、大規模修繕等に現状の約2.8倍の更新コストがかかる見込みです。

これらの施設について、今後40年間で必要となる建替えや大規模修繕等にかかるコストを試算すると、40年間で約2,237億円（1年あたり平均約56.7億円）必要になり、公共施設の投資的経費の平均（平成20年度～平成22年度）の約2.8倍の更新コストが必要になる見込みとなっています。

☞ [公共施設の建替え及び大規模修繕等にかかる更新コストのグラフ\(画像をクリックすると別画面で拡大表示されます。\)](#)



続いて、主に不特定多数の市民の方が利用する公共施設やサービスについて、ご質問します。

■公共サービスの提供場所について、以下の設問にお答えください。

公共施設全体のトータルコスト（建物の建設から廃棄までの施設コストや運営コスト）を縮減するための方策のひとつとして、施設を複合化することで、建物の一部（設備や駐車場など）を共用し、建物管理の効率化を図ることが考えられます。

特に小学校や中学校は、各地域に配置されていることから、地域コミュニティの核になり得る施設として、大規模修繕や建替え時期に合わせて、複合化を進めていくことが考えられます。

[🗺️ 主な公共施設の配置図（画像をクリックすると別画面で拡大表示されます。）](#)



設問2 小学校の近く（あるいは同じ場所）で提供されると良いと思うサービスについて、当てはまるものを最大3つまで選んでください。

- ① 子ども関連（保育園、子どもの家、子ども会館、青少年会館等）
- ② スポーツ関連（体育館、プール）
- ③ 社会教育関連（図書館、学習センター等）
- ④ 福祉関連（老人福祉センター、デイサービス等）
- ⑤ 行政手続き関連（市役所窓口、支所窓口等）
- ⑥ その他（ ）

設問3 中学校の近く（あるいは同じ場所）で提供されると良いと思うサービスについて、当てはまるものを最大3つまで選んでください。

- ① 子ども関連（保育園、子どもの家、子ども会館、青少年会館等）
- ② スポーツ関連（体育館、プール）
- ③ 社会教育関連（図書館、学習センター等）
- ④ 福祉関連（老人福祉センター、デイサービス等）
- ⑤ 行政手続き関連（市役所窓口、支所窓口等）
- ⑥ その他（ ）

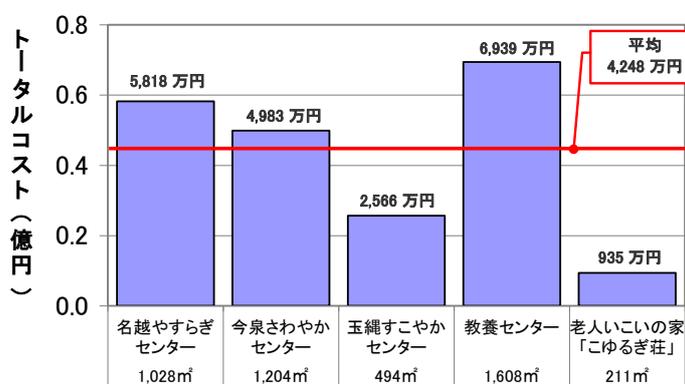
■老人福祉センターについて、以下の設問にお答えください。

鎌倉市の老人福祉センターでは、市内在住の60歳以上の高齢者に対し、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションを営むための施設として、入浴、集会、娯楽サービスを提供しています。

👉 [老人福祉センターの配置図（画像をクリックすると別画面で拡大表示されます。）](#)



👉 [老人福祉センターのトータルコスト（平成22年度）（画像をクリックすると別画面で拡大表示されます。）](#)



老人福祉センター外観

設問4 施設配置図に示した老人福祉センターで、利用したことがある施設はありますか。

- ① ある。 ⇒設問5へ
- ② ない。 ⇒設問6へ

設問5 設問4で「①ある。」と答えた方に質問します。あなたのお住まいから、利用したことがある老人福祉センターまでの距離を1つ選んでください（※複数利用したことがある方は最もよく利用したことがある老人福祉センターについてお答えください）。

- ① 500m未滿（歩いて10分程度の距離）。
- ② 500m～1km未滿（歩いて20分程度の距離）。
- ③ 1km～2km未滿（歩くと20～40分かかり、バス（車）や電車で通う距離）。
- ④ 2km以上（バス（車）や電車を利用しないと行けない距離）。

■鎌倉芸術館のあり方について、以下の設問にお答えください。

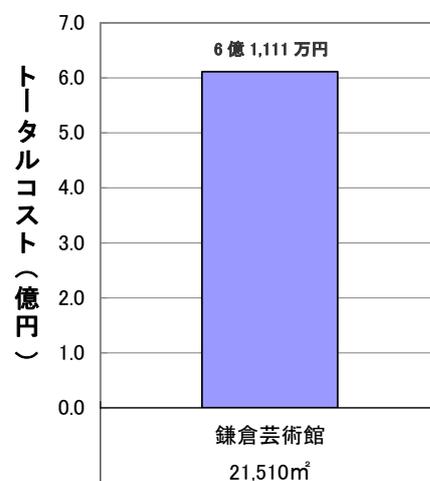
鎌倉芸術館は、1,500席の大ホール及び600席の小ホールなど、本格的なホールを持つ文化施設です。ホールのほか、ギャラリーやスタジオ、会議室などが利用でき、さまざまなジャンルの主催事業も開催されています。

現在、建築から20年をむかえ、老朽化する音響設備等の更新が求められており、費用の大きさが課題となっています。



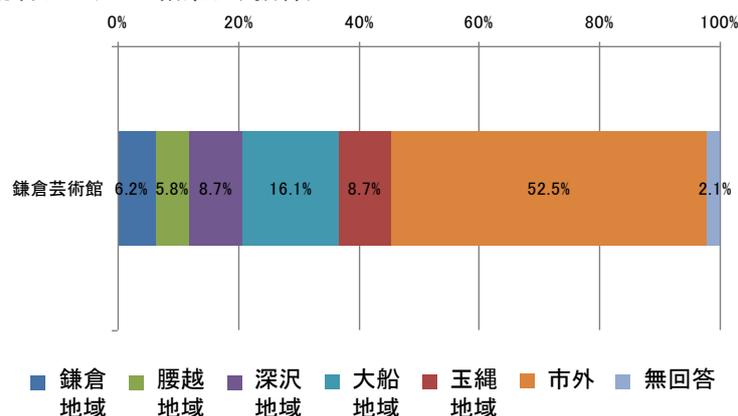
鎌倉芸術館外観及び内観

👉 [鎌倉芸術館のトータルコスト\(平成22年度\)](#)
[\(画像をクリックすると別画面で拡大表示](#)
[されます。\)](#)



👉 [鎌倉芸術館の利用者の居住地 \(画像をクリックすると別画面で拡大表示されます。\)](#)

(平成24年度利用者アンケート結果より抜粋)



設問12 鎌倉芸術館を利用したことがありますか。

- ① ある。 ⇒設問13へ
- ② ない。 ⇒設問15へ

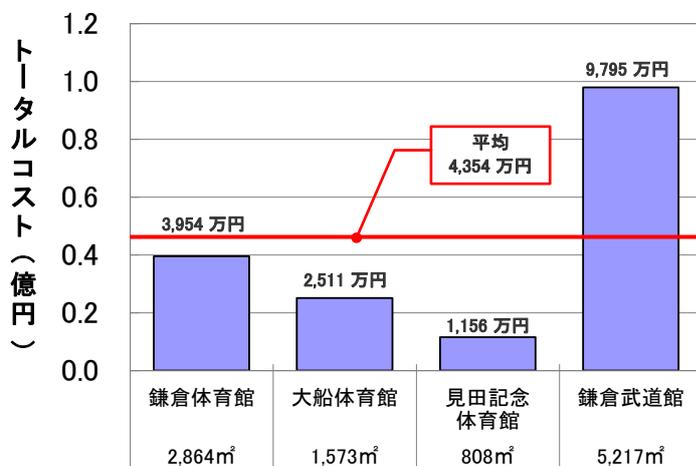
■体育館について、以下の設問にお答えください。

鎌倉市の体育館には、鎌倉体育館、大船体育館、見田記念体育館、鎌倉武道館の4館があります。このうち、鎌倉体育館（昭和45年度建設）や大船体育館（昭和58年度建設）は築30年以上経過しており、老朽化への対応が必要になります。

👉 [体育館の配置図（画像をクリックすると別画面で拡大表示されます。）](#)



👉 [体育館のトータルコスト（平成22年度）（画像をクリックすると別画面で拡大表示されます。）](#)



鎌倉体育館外観

設問20 鎌倉体育館、大船体育館、見田記念体育館、鎌倉武道館のいずれかを利用したことがありますか。

- ① ある。 →利用したことがある施設を選んでください（複数回答可）
鎌倉体育館 大船体育館 見田記念体育館 鎌倉武道館
- ② ない。

設問21 体育館の今後のあり方について、望ましいと思うものを1つ選んでください。

- ① 利用者の負担が増えても、施設の数や、施設のサービスや設備は現状のままで良い。
 ② 施設のサービスや設備が充実されるなら、施設が市内に1つでも構わない。
 ③ その他（)

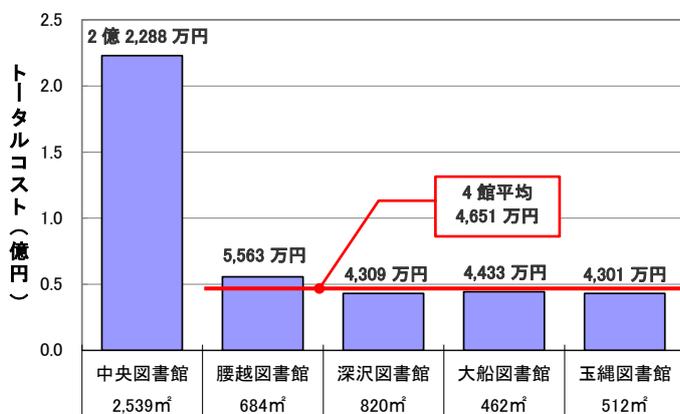
■図書館について、以下の設問にお答えください。

図書館は、鎌倉中央図書館、腰越図書館、深沢図書館、大船図書館、玉縄図書館の計5施設あり、鎌倉中央図書館以外は、支所や学習センターとともに行政センター内に併設されています。平成22年度の図書館の蔵書数は、約61.3万点です。この内訳は、中央図書館が約26.8万点で全体の約44%を占めており、腰越図書館・深沢図書館が10万点前後、大船図書館と玉縄図書館が7万点前後の蔵書数となっています。

👉 [図書館の配置図 \(画像をクリックすると別画面で拡大表示されます。\)](#)

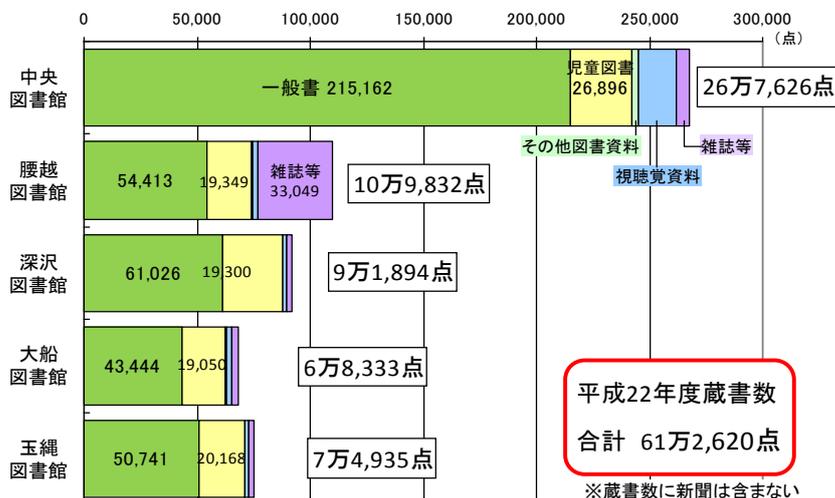


👉 [図書館のトータルコスト\(平成22年度\) \(画像をクリックすると別画面で拡大表示されます。\)](#)



図書館内観

👉 [図書館の蔵書数 \(平成22年度\) \(画像をクリックすると別画面で拡大表示されます。\)](#)



設問22 図書館を利用したことがありますか。

- ① ある。
- ② ない。

設問23 図書館の今後のあり方について、望ましいと思うものを1つ選んでください。

- ① 蔵書数及び施設数ともに現状と同じが良い。
- ② 図書の予約や返却が身近なところで可能になれば、蔵書数が充実した大きな図書館が市内に1つあれば良い。
- ③ その他()

■最後に、あなたご自身のことについてお尋ねします。

設問24 あなたの家族構成を 1つ選んでください。

- ① ひとり暮らし
- ② 夫婦のみ
- ③ 子育て世帯（ご自身が親で18歳未満の子どもと同居する世帯）
- ④ 親と子ども世帯（ご自身が親で18歳以上の子どもと同居する世帯）
- ⑤ 親と子ども世帯（ご自身が子ども）
- ⑥ 三世代同居
- ⑦ その他()

設問25 あなたがお住まいの地域を 1つ選んでください。

- ① 鎌倉地域
- ② 腰越地域
- ③ 深沢地域
- ④ 大船地域
- ⑤ 玉縄地域

 [地域区分図（画像をクリックすると別画面で拡大表示されます。）](#)

